

## 第 23 回筑波大学附属病院認知症疾患医療センター研修会・講演会

### 【開催報告】

2024 年 11 月 1 日(金)(ハイブリッド形式)

医療・介護・福祉・行政等認知症に関わる専門職の皆様を対象に『第 23 回筑波大学附属病院認知症疾患医療センター研修会・講演会』を水戸プラザホテルにて開催いたしました。

Covid-19 の影響により、2020 年よりオンラインでの開催を余儀なくされておりましたが、今回は4年振りに会場参加も可能なハイブリッド形式での開催となりました。

当日は筑波大学附属病院認知症疾患医療センター 新井哲明部長の挨拶を皮切りに、量子科学技術研究開発機構(QST)量子医科学研究所・脳機能イメージング研究センター 徳田隆彦先生をお迎えして「認知症 DMT 時代の体液バイオマーカーについて ～血液バイオマーカーを中心に～」をテーマにご講演いただきました。

本来であればなかなか触れることのできない世界最先端の研究内容を、時に皆知っているキャラクターを例えに出すなど、徳田先生の軽妙なお言葉で解説していただきました。

研修会後のアンケートでも「なかなか聞くことのできない貴重な内容で大変勉強になった」「自分にとって身近な病気であり、とても難しかったが興味深い内容だった」「最前線で競い合っている世界に初めて触れてしびれました」など熱量のある感想を数多くいただきました。

今回は会場とオンラインで多数の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

次回研修会につきましては、来年2月を予定しております。決まり次第、当センターHP 内でもお知らせいたします。皆さまぜひご参加ください。

